



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会
〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地（福祉ふれあい会館内）
TEL 058-391-0631 FAX 058-391-0632

「早くあげたいなあ」
～ 凧作り大会（社協福寿支部）～

- 紹介 P2 ・新年のご挨拶ほか
- 紹介 P3 ・みんなで地域を幸せに
～住んでよかった地域をめざして～
- 紹介 P4 ・福祉協力校活動紹介
あたたかい心を広めよう 中島小学校
- 案内 P5 ・わが街のボランティアさん
- 案内 P7 ・児童センターだより

No.
208
2019.1.1
隔月発行



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。
本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。

新年のご挨拶



社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会

会長 中 畑 弘

新年あけましておめでとうございませす。

皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は社会福祉協議会の活動に多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年では、個人・世帯が抱える複合化した課題や、既存の制度による解決が困難な課題が増えつつあります。これらの解決を図るため、地域住民による支え合いと公的支援が連動した包括的な支援体制の構築を目指し、社会福祉法が改正されました。

このような中、私も社会福祉協議会は、地域住民が身近な地域の問題を自身の問題と捉え、住民が相互に支えあうことができ、地域づくりをすることが求められていると考えています。そこで、地域の誰もが交流できる場や機会を設けたり、住民相互の助け合いをベースにした新たな支え合いの仕組みをつくったりすることで地域のつながりの再構築を進めていきたいと考えています。

最後に、会員の皆様のより一層のご支援とご協力、地域福祉活動への主体的な参加をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

現場の大変さを知った！



▲関市社協職員による講演

羽島市防災研究会の皆さんと本会職員が合同で、11月25日(日)に、災害ボランティアセンター(以下、災害VC)運営研修を行いました。

昨年の7月豪雨災害後に立ち上げられた関市災害VCの運営報告を、関市社会福祉協議会職員から聴くことができました。

その後、災害VCの運営において本会のマニュアルにない事態への対応方法について意見を出し合いました。

いろんな場でご活用ください！

羽島にこここ体操



羽島市社会福祉協議会では、介護予防を図ることを目的とした『羽島にこここ体操』の普及を図っています。

曲利にこここ会(正木町)では、毎月2回行う介護予防運動教室で取り入れています。



動きが簡単なので
覚えやすいです

動画は
こちらから
※DVDの貸出も
行っています



この体操を行っている団体を紹介しますので、希望される場合は、本会(☎391-0631)までご連絡ください。

サロンで活用しま〜す!



ふれあいサロンは、ひとり暮らし高齢者の孤立の予防や解消、閉じこもり防止などを主な目的とした活動です。約50カ所で行われており、すっかり地域に定着した感があります。このふれあいサロンを運営するみなさんを対象に、11月29日（木）に研修会を行いました。健康運動指導士の日榮明美さんに指導いただき、ふれあいサロンで活用できる体操を学びました。

みんなので地域を幸せに

〜住んでよかった地域をめざして〜

羽島市社会福祉協議会は、子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らせることをめざし、地域のみなさんと一緒に地域の課題を見つめたり、それを解決するための仕組みを考えたりしています。

「ほくもーわたしも!」

地域には、近隣の商店の

撤退などを理由に、食料品や日用品の買い物に困難を抱えている人がいます。高齢化が進むにつれ、このような困りごとを抱えた人は、ますます増加していくと考えられます。

そこで、こうしたことを子どもも自分の地域の課題として捉えられるきっかけづくりを目的に、11月3日

(土)に社協正木支部のみなさんにご協力いただき、大人と一緒に話し合いをしました。参加した小学生が、

『地域で買い物のお手伝いをする活動が始まり、活動のルールを決めている』という想定で、大人とともにゲーム形式で意見を出し合いました。

参加した小学生からは

「いつも車で買い物に行っているのに、買い物ができなくて困っている人がいるとは知らなかった」「私のおじいちゃんとおばあちゃんも、今は大丈夫だけどいつか困る時がくるかもしれない」「こんな活動があったら、困っている人のために参加したい」などの感想が聞かれました。

今回の体験を通じて、子どもたちが、自分の住む地域やそこに暮らす人の生活上の問題に関心を持つこと、ひいては地域の福祉に関心を深めていくことを願っています。

地域を元気に!

羽島市では、地域のみなさんが主体となり、住民がつどい交流する場などを活用した介護予防の取り組みが行われることを目指しています。

そこで本会は、「介護予防ボランティア養成講座」を開催し、自分が住む地域で介護予防の場を立ち上げ、運営する人を養成しています。

本年度2回目の講座を、10月から11月にかけて8日間の日程で行いました。参加者は、地域住民に期待さ



▲しっかりと自分の考えを話す小学生

れていることや高齢者との接し方、介護予防を目的とした運動などを講義や演習にて学びました。そして、東小熊（小熊町）と飯柄（竹鼻町）のみなさんにご協力いただき、運動の指導を実習しました。このことで、介護予防ボランティアの役割について理解を深めました。

なお、修了に必要な要件を満たした講座の参加者には、修了証書を授与されました。これまでに修了された約80名のみなさんとともに、地域の介護予防の要として活躍が期待されます。



▲指導の実習をする参加者



あたたかい心を広めよう

羽島市立中島小学校



中島小学校では、「思いやりの心を持ち、相手の立場を理解し、ともに認め、励まし合いながらよりよい姿をめざそうと努力する子の育成」を目標として、様々な福祉活動を行っています。

児童会活動としては、福祉委員会や企画委員会が中心となり、あたたかい心といった中島小学校を指して、活動しています。

4年生では、総合的な学習の時間で「福祉」について学んでいます。福祉の学習では、いろいろな立場の人のことを考えています。

牛乳パック・アルミ缶回収

福祉委員会の活動の一つとして、毎週火曜日にアル



▲牛乳パック回収の様子

ミ缶と牛乳パックを回収しています。児童や保護者への認知度も高く、家庭でアルミ缶や牛乳パックを洗い、乾かしてから持って来る児童が多いです。児童は一緒に空き缶をつぶしたり、「今日はたくさんあるね。」と委員に話しかけたりして関心が高いです。収益金は赤い羽根共同募金に充てています。どのように役立っているのかについて、今後継続的に伝えていきます。

「ほかほか言葉」キャンペーン

中島小学校では、毎年11月末に「ジャンプ集会」という、たてわり班の八の字跳び大会があります。休み時間には、たてわり班での練習時間が設けられ、異学年の子と一緒に練習をします。その中で、かけてもらって嬉しかった言葉や、助けられたことなどを「ほかほかカード」に書き、全校放送で紹介しています。

このキャンペーンを通して、学年関係なく練習中に相手を励ます言葉が増えたり、苦手な子に優しく教えたりして、どのたてわり班も温かい雰囲気での練習をすることができました。



▲ジャンプ集会の練習の様子

高齢者疑似体験 車いす体験

4年生では、高齢者疑似体験、車いす体験を行いました。特に今年度は「知る」ということを重点とし、「どんなことに困っているのか」「自分達にはどんな支援ができるのか」を常に考えながら活動を行いました。高齢者疑似体験ではぬり絵をする、ペットボトルの水をコップに入れるなど、普段の生活に近い動作も入れることで、生活の困難さに気付くことができました。車いす体験では、狭いところ

ろを通る、でこぼこのある道を通るなど様々な場面を設定しました。これらの学習を通して、児童の会話の中に「ここは段差がないね」「この広さなら通りやすいね。」という内容があり、体験が活かされていると感じています。



▲車いす体験の様子（段差）



▲高齢者疑似体験の様子（ぬり絵）

ボランティアさん

羽島市内で“いきいき”と活動中のボランティアグループを紹介します。

山内眞一さん



たっぷり運動した後は、お茶タイム♪

主な活動内容は？

毎週火曜日に羽島市社会福祉協議会が行っている介護予防運動教室で、簡単な運動の指導や、会場の準備・片付けを行っています。

活動のきっかけは？

仕事を退職し、時間に余裕ができたため、以前から関心があったボランティア活動を始めてみようと思いました。また、母親が介護施設でお世話になったため、福祉の分野でいつか恩返しをしたいと考えていました。そんな頃、散歩の途中で羽島市社会福祉協議会に、ふらっと寄ってみました。そこで、介護予防ボランティア養成講座の話聞き、受講後、今の活動を始めました。

活動を始めていかがですか？

長年、サラリーマンとして働いてきましたが、ボランティア活動は仕事と違い、自分が知らないことばかりなため、自分がどのようなことができるか心配でした。しかし、今は毎週の活動が楽しいです。教室に参加される方は、みなさん良い方ばかりで、自分も助けられています。居心地が良く、だから継続して活動ができています。

今後の意気込みは？

無理をしないで、これからも細く長く頑張って活動していきたいです！

考えてみませんか？ 防災とボランティア

1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日～1月21日は「防災とボランティア週間」です。この期間には、災害時におけるボランティア活動や、自主的な防災活動の普及のための取り組みを行う目的があります。

ぜひ、この機会に「防災とボランティア」について考えてみませんか？



どんなことを考えると良いですか？

- 例えば、次のことを考えてみましょう。
- ・我が家は、水などを備蓄しているかな？
 - ・家具は転倒しないかな？
 - ・災害ボランティアは、具体的にどのような活動をするのだろう？

家族などと話し合ったり、インターネットなどで調べたりしましょう。また、地域などで行われる防災の行事に参加するのも良いでしょう。



ボランティアは、単なるお手伝いではありません。「ボランティアが必要な理由」を十分理解し、目的を持って活動しましょう。

ボランティアに関するご質問・ご相談等は、

羽島市福祉ボランティアセンター(☎391-0631)まで

(羽島市社会福祉協議会内) お気軽にお問い合わせください



高齢者のみなさん、 何でもご相談ください

地域包括支援センターでは、介護予防に関する情報などを提供しています。
このほか、介護に関する相談や悩みをはじめ、健康や福祉、医療や生活に関することなど、どんな相談にも対応いたします。



地域包括
支援センター



羽島菊子さん

介護が必要になってから相談する所だと思っていたけど介護以外の相談にもものってもらえるのね。

例えばこんな悩みはありませんか？

- ・ ひとり暮らしになったので、病気になった時など不安なことが増えてきた。
- ・ 要介護認定を受けるほどでもないけれど、将来の生活が不安。
- ・ 要介護認定を受けたら、「非該当」だったが、生活全般に不安がある。
- ・ 同居の父が引きこもっている。
- ・ 認知症の母が徘徊し、ひどく困っている。 など



まずは一度、お気軽にご相談ください！！

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください！！

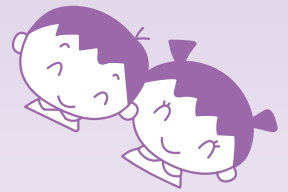


羽島市地域包括支援センター
(高齢者総合相談センター)

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館内

児童センター だより



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします



はっぴーサロンコーナー

● おやこでおやつ作り ●

～バレンタインミニデコレーションケーキ～

【日 時】2月14日(木) 9:45～11:45

【場 所】羽島市福祉ふれあい会館2階
調理室

【講 師】吉田佳子先生

【対 象】乳幼児と保護者

【定 員】15組

【参加費】1組400円(当日集金)

【申込期間】1月8日(火)～22日(火)

※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学
(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。



おひなさま会



【日 時】2月8日(金) 10:30～11:30

【場 所】児童センター アリーナ

【内 容】ミニコンサート
おひなさまクラフト

【対 象】乳幼児と保護者

【定 員】50組

【参加費】無料

【申込期間】1月8日(火)～22日(火)

※フルーツとピアノのミニコンサートとかわいい
おひなさま作りを行います。
ぜひ親子でご参加ください。

はしま子育て支援チームの活動

「ほっとブレイクデー」

【日時】1月9日(水)・2月13日(水)
10:00～12:00

【場所】児童センター 図書室

・コーヒーまたは紅茶とおやつで130円です。

「子育て講座」

【日時】2月27日(水) 10:30～11:30

【場所】羽島市福祉ふれあい会館2階

【講師】三神廣子先生

お問合せ：☎090-3447-8082(馬場)

お気軽にご参加ください。

※1月は、お休みさせていただきます。

お申し込みについて

開館時間内に、各専用申込用紙に記入して
児童センター事務室の申込箱に入れてください。
定員以上の申込みがあった場合は、公開抽
選を行います。

※但し、はしま子育て支援チームの活動は除く

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター(羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎ 391-1226 FAX 391-1622

e-mail : jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日：毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

共同募金運動へのご協力 ありがとうございました

岐阜県共同募金会羽島市支会

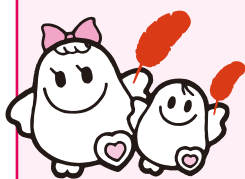
10月1日から12月31日まで実施いたしました共同募金運動（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）に、たくさんの善意をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

また、各自治会をはじめ、学校、職場等を通じて多くの方々にご協力いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

結果につきましては、次号の「社協はしま」（3月1日発行予定）にてご報告させていただきます。



▲JR岐阜羽島駅前での募金活動



ふれあい インフォメーション

情報

福祉車両を お貸しします

羽島市在住で在宅で生活されており、車いすを利用しないと外出が困難な方を対象に、車いすのまま同乗できる軽自動車を無料でお貸しします。

【対象となる利用目的】
医療機関への通院や、福祉施設への入退所など。

※運転者は利用される方の家族に限定します。

【利用可能日時】

月曜日から金曜日の8時30分～17時15分（年末年始を除く）。

貸出方法などの詳細は、羽島市社会福祉協議会事務局（☎391-0631）までお問い合わせください。

おしゃべりで リフレッシュ

介護者同士でお茶を飲み

ながらお話をしたり、情報交換をしたりする介護者サロン「にこにこカフェ」を行っています。

実施日

① 温泉会場
1月24日(木)

② 正木会場
2月8日(金)

時間

いずれも13時30分～15時30分（途中参加・退席可）

会場

① 羽島温泉（桑原町午南）2階面接相談室

② 正木コミュニティセンター（正木町坂丸）2階和室

参加費

100円

対象

在宅の要介護高齢者を介護している市内在住の人

ありがとう！ あったかハート

◆本会への寄付

匿名 2件

（10月16日から12月10日まで）



羽島市福祉ふれあい会館 案内

- 4F 羽島市児童センター
- 3F 羽島市発達支援センター
発達教室もも・相談室もも
- 2F 地域福祉活動センター
- 1F 羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
ふれあい介護支援センター
羽島市地域包括支援センター

羽島市社会福祉協議会 休業のお知らせ

12月29日(土)～
1月3日(木)まで

年末年始休業期間とさせていただきます。